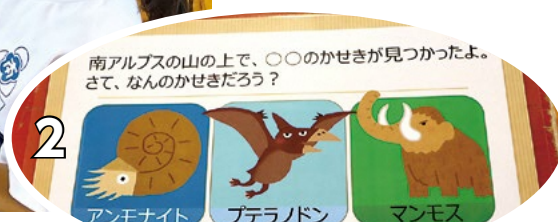


光の森学園

井川小中学校

×

交 流 学 習



①南アルプスに関連したクイズに答える ②クイズの内容。正解は「アンモナイト」 ③南アルプスに関する詳しい説明を聞き理解を深める ④南アルプスの成り立ちをマットや跳び箱を使って学ぶ ⑤南アルプスで見られる岩や化石にはどのようなものがあるか、真剣に聞いている様子

光の森学園と静岡市立井川小中学校の交流学習が6月12日に実施されました。

この日は体育や音楽の授業と、環境教育プログラムとして南アルプスについて学びました。

これは同年の児童が共に学び生活し、視野を広げ主体性や協調性を育てること、また南アルプスユネスコエコパーク移行地域の学校同士が郷土や南アルプスについて学び、理解と誇りを高めることを目的として開催されました。1年生から4年生までの児童が参加し、光の森学園から23人、井川小中学校から4人が授業を行いました。

環境教育プログラムでは、南アルプスみらい財団の方による授業が実施され、2つのコースに分かれて南アルプスについて学びました。

クイズに答えるコースでは、南アルプスに関する12問のクイズが出題され「南アルプスは100年間でどれくらい標高が高くなったでしょう」と「川根本町と井川を流れている大きな川の名前は？」という問いに、グループ内で相談しながら答え

ていました。スタッフが写真を見せながら「南アルプスは昔、氷に覆われていて、氷によって山肌が削られているのが分かるところだよ」という詳しい説明に真剣に耳を傾けていました。

南アルプスの成り立ちを学ぶコースでは、マットや跳び箱を大陸プレートや火山に見立て、両側からマットを引っ張って実際に南アルプスがどのように形成されたのかを再現しました。「南アルプスの山々を造る岩石は、もともとは海の底にあった堆積物からできています。海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込むことで、島弧（火山活動が活発な島々）が本州に衝突し、堆積物などがめくれ上がるように押し上げられたことにより形成されました」というスタンプからの説明に、子どもたちは興味津々で学びを深めていました。

この交流学習を通じ、子どもたちは南アルプスの自然環境や地形を理解し、また交流を深めました。今後もこのような学習を続け、地域の自然や文化への愛着を育むことが期待されます。